

子宮頸がん検診を受けましょう

健康政策課 ☎048(456)5370

令和7年度から子宮頸がん検診の受診間隔が変わりました。子宮頸がん検診は、がんに進行する「異形成」状態の細胞の有無を調べる細胞診検査と子宮頸がん発症の原因であるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染の有無を調べるHPV検査に分かれています。対象となる人は子宮頸がん検診を受診しましょう。

令和7年度子宮頸がん検診対象者

検査の種類	検診間隔と対象年齢（令和7年4月1日時点）
細胞診検査	2年に1回（20・22・24・26・28歳、62歳以降2歳刻みの年齢）
HPV検査	5年に1回（30・35・40・45・50・55・60歳）
※結果が陽性の場合は細胞診検査を実施	

▼令和6年度に対象年齢だったものの未受診の人や令和6年度に受診したHPV検査で「1年後にHPV検査が必要（追跡精検）」と診断された人も令和7年度子宮頸がん検診の対象となります。

個別検診

実施期間 令和8年2月28日（土）まで

実施場所 志木・朝霞・和光・新座市のがん検診実施医療機関、恵愛病院（富士見市）

自己負担額 700円（体部細胞診を実施した場合は500円追加）

申込み 直接、受診する医療機関にお問い合わせください



▲市ホームページ



▲WEB予約サイト

集団健（検）診

実施日・実施場所 市ホームページをご確認ください

自己負担額 600円

申込み 実施日の4週間前までにWEB予約サイトまたは申込専用ダイヤルから予約申込み

申込専用ダイヤル ☎0120(373)489 受付：8時30分～17時

▼土・日曜日、祝休日、12月31日～令和8年1月3日を除く

10月は3R推進月間です

環境推進課 ☎048(473)1492

市では、リデュース（ごみ減量）・リユース（再利用）・リサイクル（再資源化）の3Rに加え、リフューズ（ごみになるものは断る）を加えた4Rを独自に推進しています。

Refuse（リフューズ）

市独自の取り組みです。ごみになるものは断ります。
マイバックやマイボトルなどの使用を心がけましょう。

Reuse（リユース）

繰り返し使用します。
バザーやフリーマーケットなどを活用しましょう。

Reduce（リデュース）

ごみを減らします。
物を大切に長く使うことを心がけましょう。

Recycle（リサイクル）

再生して使用します。
資源のリサイクル率を向上させましょう。

禁忌品（リサイクルできない紙）は可燃ごみです

市では、集積所に出される資源物をリサイクルしています。

集積所に出される資源物の中で、^{ざつがみ}雑紙が最も多く収集されていますが、リサイクルできない禁忌品（紙類）が含まれていることがあります。禁忌品とは、紙製原料にならない異物のことで、禁忌品が混入していると再生の妨げになります。禁忌品は可燃ごみとして出すなど、正しい分別にご協力ください。

禁忌品（例）

- ・粘着物のついた封筒
- ・防水加工された紙（紙コップ、カップ麺容器、紙製のヨーグルト容器など）